

鈴木家へようこそ

鈴木 亮二・裕美ご夫妻

8/5～11までカナダから来た19歳の女の子を受け入れました。私達は彼女を「ハディザ」と呼びました。彼女の髪は細く編み込んであり、笑顔の素敵な女の子でした。我が家にも18歳と17歳の同年代の娘が居るのでハディザと家族はすぐに仲良くなりました。

ハディザはとても勉強熱心で、4ヶ月日本語を勉強してきたので、短い単語ながら精一杯私達に伝えようと頑張っていました。また携帯電話の翻訳機能を使って、私達の片言の英語も理解してくれました。彼女のお父さんは何度も日本に来たことがあるらしく、ハディザは日本のドラマやアニメが大好きで、持ってきたパソコンには日本のアニメキャラクターのシールが所狭しに貼ってありました。

ドライブ中は好きなアーティストの曲を振り付きで子供たちと一緒に歌い、看板の文字を読んでいました。カナダではコンビニは少なく、「セブンイレブン」はガソリンスタンドだと教えてくれました。家族で世界地図を広げ、住んでいる場所や行ったことのある国を教えてくださいました。私達にとって初めての受け入れで緊張、不安がありましたが、会ってからは楽しく充実した1週間でした。私達家族はハディザをのこを自分の家族のように大好きになり、また日本に来てもらいたいと思っています。子供達が受けた影響も大きく、海外に目を向けるきっかけになったと思います。

今回の受け入れは父と母の協力もあり、毎日手作りの食事、うどん・そば作り、流しそうめん、餅つき等、日本の文化を取り入れて体験させてくれたことは本当に感謝します。たくさんの観光地に連れていく事も楽しいですが、家で昔ながらの体験が出来る環境だからこそ、アットホームな雰囲気の中で迎



え入れてあげられたかと思います。

ホームステイを経験させていただいたおかげで、そんな恵まれた環境があることを改めて実感しました。

- 5日 11時頃家に着いたハディザは「疲れた」と言い昼寝をした後、庭で流しそうめんランチ。竹を割って作った本格的な流しそうめんを箸で上手にとり、美味しそうに食べていた
はじめてのスイカ割り。夕食は手巻き寿司と大好きな焼きそばパーティー。食べたことのない魚もどんどんトライして食べていた
- 6日 大洗水族館
8歳の息子が手をつなぎ1日エスコート。イルカショーに大喜び
- 7日 大谷観音
日本の文化や伝統に興味があるので熱心に見学していた。夕方はパンケーキショップ、カナダのメイプルシロップがついていて、甘いものが大好きでペロリと完食。お盆の時期の仏壇、提灯飾りに興味を持っていた
- 8日 市長訪問
雨が降っていた為、家でうどんづくり。ライオンズクラブのウェルカムパーティー
- 9日 午後から東京ディズニーランドへ
日本のディズニーはゴミが落ちてなくて綺麗なことに驚いていた。1週間の中で本人が一番楽しかった事だと言っていた
- 10日 餅つき・たこ焼きで最後の夕食
夜は浴衣を着て庭で花火大会
- 11日 成田空港へ送る

